

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0863

住所 神奈川県 川崎市 川崎区 夜光 3丁目3番地3号

氏名 日本食塩製造株式会社 印

代表取締役社長 貞永 憲作

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日本食塩製造株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県 川崎市 川崎区 夜光 3-3-3		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	塩製造業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	5,284	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	製造部 保安全管理チーム
		所在地	神奈川県 川崎市 川崎区 夜光 3-3-3
		電話番号	044-288-2521
		FAX番号	044-276-0475
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 9,766 t-CO ₂ (調) 9,269	(実) 9,078 t-CO ₂ (調) 8,604	(実) 9,524 t-CO ₂ (調) 9,045	(実) 9,781 t-CO ₂ (調) 9,311	(実) 9,473 t-CO ₂ (調)
削減率		(実) 7.0 % (調) 7.2	(実) 2.5 % (調) 2.4	(実) -0.2 % (調) -0.5	(実) 3.0 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値		0	0		
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	設備の更新、設備の運転方法改善を行い製造ロスを削減したことにより、温室効果ガスの削減に成功した。
第2年度	生産数量が前年度比+9.2%でエネルギー使用量が増加したが、温室効果ガスの排出量は前年度比+4.9%増と大幅に抑えることに成功した。
第3年度	生産数量の増加に伴いエネルギー使用量、温室効果ガス排出量も増加した。計画3カ年を通しての結果については、コンプレッサーの使用量の削減対策を主として、その他地道な省エネ活動が実を結び、生産数量の増加に対して、排出量を抑制できた。（生産数量が基準年度比+7.9%、これに対し温室効果ガスの排出量は-0.2%とほぼ横這い）

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

<p>年1%、3カ年で3%以上の削減目標に対し、結果-0.2%という結果になったが生産数量の増加に対して、排出量を抑制できた。</p>

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)	計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 空気圧縮機の使用量削減 2. 照明器具の高効率化 3. 製造ロスを削減し製品化率を改善する 4. 省エネルギー推進委員会による管理体制改善 5. 計画的省エネ化
	第 1 年度	<ol style="list-style-type: none"> 2. 照明器具の高効率化 製品保管倉庫の照明をH f 型に更新し、高効率化した。 3. 製造ロスを削減し製品化率を改善する 運転方法の見直し、加熱蒸発設備の更新により製造ロスを削減した 4. 省エネルギー推進委員会による管理体制改善 省エネルギー推進委員会の立ち上げ
	第 2 年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 空気圧縮機の使用量削減 吐出圧力設定を見直し及び漏れ箇所の改善 2. 照明器具の高効率化 製品保管倉庫の照明をH f 型に更新し、高効率化した。 3. 製造ロスを削減し製品化率を改善する 設備の整備計画を立て突発故障を減らし製造ロスを削減した。 4. 省エネルギー推進委員会による管理体制改善 各種省エネ対策実施
	第 3 年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 空気圧縮機の使用量削減 管理・運用体制の見直し、漏れ箇所点検作業の定常化 2. 製造ロスを削減し製品化率を改善する 設備の整備計画を立て突発故障を減らし製造ロスを削減した。 3. 省エネルギー推進委員会による管理体制改善 各種省エネ対策実施
自動車等 (第 3 号該当者等)	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ol style="list-style-type: none">1. 神奈川県エネルギー管理指定工場連絡会への参加2. 廃棄物の分別化を促進3. 包材ロスの低減化を促進による廃棄物の低減4. グリーン購入の推進
第1年度	<ol style="list-style-type: none">1. 神奈川県エネルギー管理指定工場連絡会への参加2. 廃棄物の分別化を促進3. 包材ロスの低減化を促進による廃棄物の低減
第2年度	<ol style="list-style-type: none">1. 神奈川県エネルギー管理指定工場連絡会への参加2. フレキシブルコンテナ及び、プラスチックパレットのリサイクル化を行い廃棄物を削減した。3. 包材の受入れ検査を強化し規格外製品の発生を抑制してロスを低減した。
第3年度	<ol style="list-style-type: none">1. 神奈川県エネルギー管理指定工場連絡会への参加2. 混在産業廃棄物として処理していた木材を分別し、リサイクル化を図り産業廃棄物を削減した。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	10,033	t-CO ₂
(調)	10,027	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
日本食塩製造株式会社	川崎市川崎区夜光3-3-3	1624	塩製造業	10,033 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--